

## 社会

小学校 第6学年

OS・ソフト等

- PowerPoint
- ロイロノート
- iPad

<単元・題材名>

明治の国づくりを進めた人々

ねらい

ペリーの肖像画が怖そうに描かれている理由を考えることを通して、ペリーが来航したことをきっかけに国民が外国の強さを実感したことや生活が苦しくなったことに気づき、人々にこれからを不安に思う気持ちがあったことを推察することができる。

### 主なICTの活用方法

- ・ 思考ツールを活用し、考えたことを整理したり、資料に直接書き込んだりして個人追突を行う。
- ・ ロイロノートの共有ノートを活用して小集団交流を行う。

### ICTを通じて育成する資質・能力

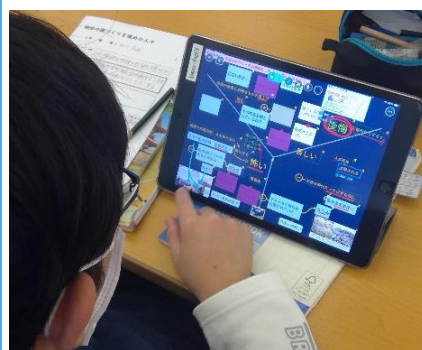
- ・ 思考ツールを活用し、気付いたことや考えたことを資料に書き込んだり、考えをつなげたりすることで、自分の思考を整理し、考えた根拠を明確にして説明することができる。

### 実践の概要

- ・ 導入の場面では、ペリー来航の様子を説明するため、PowerPointで動画やスライドを提示する。さらに通常のペリーの肖像画と目鼻などがデフォルメされた肖像画を並べて見せ、怖そうに描かれていることに課題意識をもてるようにする。
- ・ 資料追突では、思考ツール（Yチャート）を活用し、「外国の脅威」と「生活の苦しさ」の双方から考えることができるようにする。気付いたことを資料に直接書き込んだり、カードにして配置したりすることで読み取りを深める。さらに小集団交流で共有ノートを使用し、1つのYチャート上にグループの仲間の意見をまとめる。個人追突で考えたことを持ち寄ったり、話し合いを深める中でさらに書き込みをしたりして、課題解決につながるようにする。

### 児童の学びの様子

- 大型提示装置を用いて、2つのペリーの肖像画を比較するように提示することによって、ペリーに対する江戸時代の人々の印象について関心をもって学習課題を設定することができた。
- ペリーを見ていた江戸時代の人々の思いを様々な視点から考察できるように、思考ツールのYチャートを用いて整理することができた。
- ロイロノートの「共有ノート」機能を活用し、グループの仲間と課題解決に向けて話し合いながら、気付いたことを積極的にICT端末上に書き込むことができた。
- 全体追突において、グループで話し合ったYチャートを大型装置に提示し、ロイロノート上で共有し、個々の考えをまとめたスライドや複数の資料を関連付けながら、多角的に考察することができた。



### 指導のポイント

- 資料等をデジタルで配付する場合は、資料を精選するとともに、児童が自ら活用できるように共有フォルダに保存しておく。
- 資料から気付いたことをICT端末上で付箋（カード）に書き出す際には、複数の付箋の分類や順序が視覚的に捉えられるように整理し、資料の読み取りから考察を深められるようにする。
- 協働学習支援ツール上で共同作業を行う際は、グループで要点をまとめたり、共通点をキーワード化したりして、情報を整理しつつ、思考が深まるよう促す。